

ユウシュンラン ラン科

Cephalanthera erecta (Thunb.) Blume var. *subaphylla* (Miyabe et Kudô) Ohwi

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



大山町 2008.5.15/撮影：矢田貝繁明

■**選定理由**：県内での自生地は数地点で、個体数も少ない。林床の変化に弱く、イノシシによるかく乱で絶滅した場所がある。

■**特徴**：環境変化の少ない樹林下や竹林内に生育する多年生ラン科草本。茎は高さ3–10 cmで、長さ3 cmほどの葉が2–3枚つく。花は5月上–中旬に咲き、色は白色。自生地は、常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、竹林などの林下で下層植生の少ない安定した場所であるが、草本が増加傾向にある場所が多い。

■**分布** 県内：鳥取市鹿野町，大山町，南部町，江府町。県外：北海道，本州，四国，九州。

■**保護上の留意点**：自生地の急激な環境変化を避ける。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：54.

執筆者：矢田貝繁明